

11月の健康カレンダー

献血

日	曜日	受付時間	場所
12	日	10:10~12:00 13:15~16:00	くつろぎプラザ・シーパ

健康相談

内容	日	曜日	時間	場所
生活習慣病相談、栄養相談、血圧測定、こころの相談など	21	火	9:00~10:30 13:00~14:30	市役所本館 1階

乳幼児健康カレンダー

内容	日	曜日	場所
4カ月児健康診査 (R5年7月生)	24	金	南あわじ市保健センター
食育講座赤ちゃん栄養サロン (予約制) (R5年6月生)	30	木	子育て学習・支援センター
育児相談 (R5年4月生)	28	火	
10カ月児健康診査 (R5年1月生)	17	金	
1歳6カ月児健康診査 (R4年4月生)	7	火	
2歳児育児相談 (R3年4月生)	8	水	南あわじ市保健センター
3歳児健康診査 (R2年6月生)	10	金	
就学前5歳児健康診査 (H30年11月生)	20	月	
遊びの教室 (予約制)	2	木	
	9	木	
発達支援相談 (予約制)	2	木	

※各種教室・相談のお問合せは、健康課(☎43-5218)まで

時間外診療病院	休日応急診療所 (賀集地区公民館 ☎53-1536)
月 平成病院	診察日 9:00~11:30 13:00~16:30 18:00~21:30
火 平成病院 八木病院	3日(金) 穀内純江 医師 守本圭希 医師
水 中林病院 南淡路病院	5日(日) 鈴木俊示 医師 西口 弘 医師
木 翠鳳第一病院	12日(日) 富本喜文 医師 平山 毅 医師
金 中林病院	19日(日) 友清龍一郎 医師 瀧川 卓 医師
土 翠鳳第一病院	23日(木) 富本喜文 医師 日笠久美 医師
	26日(日) 橋田友孝 医師 友清龍一郎 医師

平日18:00~23:00
土曜13:00~23:00
※当直医によって専門以外の診療はできない場合があります

※発熱による受診の場合は、事前に電話をお願いします

※教室・相談は、中止や延期の場合があります。詳しくは各担当課にお問合せいただくか、二次元コードから市ホームページをご確認ください。



認知症を支える家族の会 スマイル

認知症の介護の悩みを話し合える場

日	曜日	受付時間	場所
8	水	14:00~15:00	中央公民館 1階

スマイル(認知症)カフェ ☕ ※申込不要

認知症の人とご家族、地域の人誰もが集える場

日	曜日	受付時間	場所
30	木	14:00~16:00	いちばん星 (市福永572)

※詳しくは、地域包括支援室(☎43-5237)まで

こころやすらぐひろば ※申込不要

精神疾患を抱える人とご家族らの交流を深める広場
開催日時のみオンラインによる相談も実施(福祉課に事前予約必要)

日	曜日	受付時間	場所
26	日	13:30~16:00	いちばん星 (市福永572)

家族教室 ※申込不要

精神疾患を抱える人のご家族らが交流を深める場

日	曜日	受付時間	場所
1	水	14:00~16:00	いちばん星 (市福永572)

ぴあっとふくら ※申込不要

精神疾患を抱える人が仲間と集える場

日	曜日	受付時間	場所
27	月	13:30~15:00	福良地区公民館

※詳しくは、福祉課(☎43-5216)まで

小児救急医療(対象は中学生まで)

◆小児夜間救急電話センター

毎日午後10時~午前6時(受付は午前5時40分)までの間、医師が輪番で小児夜間救急診療を行っています。

☎小児夜間救急電話センター ☎44-3799

※通話はお客対応の品質向上のため録音しています

◆休日小児救急診療

日曜・祝日・年末年始の休日、みなと元気館内の洲本市応急診療所において、小児科医の輪番による小児救急診療所を開設しています。予約は不要です。

受付時間 9:00~11:30、13:00~16:30

☎洲本応急診療所 ☎24-6340

子宮頸がん検診を受けましょう!

健康課 ☎43-5218

子宮頸がん検診とは

子宮頸がん検診では、子宮入り口部分の表面を綿棒やブラシで軽くこすって細胞を採取して調べる簡単な検査で、痛みも少なく数分で終了します。定期的(2年に1回)検診を受け、大切な体をしっかり守りましょう。



子宮頸がん検診のご案内(個別検診)

▶検診期間

令和6年2月29日(木)まで

▶受診対象

令和6年4月1日時点で20歳以上の偶数年齢の女性、および21歳(H14.4.2~H15.4.1生)の無料クーポン券対象者

※令和5年度町ぐるみ健診で既に受診されている人は個別検診は対象外です

▶費用

1,500円(医療機関で支払い)

※無料クーポン対象者は無料

▶医療機関

レディースクリニックごとう、平成病院、洲本伊月病院、柳澤医院、カク・西本協同産婦人科

▶持ち物

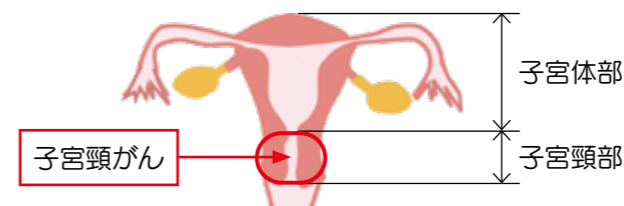
子宮頸がん検診受診票、健康保険証など本人確認できるもの

※受診票をお持ちでない人は、健康課までご連絡ください

健康課 ☎43-5218

子宮頸がんは、子宮の入り口(頸部)にできるがんです。主に性交渉によって感染するHPV(ヒトパピローマウイルス)が原因で発症します。自覚症状がないまま進行するという特徴があります。

また子宮頸がんは、20歳代から発症し、30歳代後半~40歳代が多くなります。子育て世代の母親が子どもを残して亡くなるケースもあることから「マザーキラー」とも呼ばれています。日本では年間約2,800人が亡くなっており、一生のうちにおよそ76人に1人が子宮頸がんと診断されています。(2019年データに基づく累積罹患リスク)子宮頸がんは早期に発見すれば比較的治癒しやすく、回復する可能性が高いがんです。



子宮頸がんを予防するには

子宮頸がんは、初期には症状がほとんどなく、進行すると治療が難しいため、早期発見が重要です。自覚症状が現れる頃には病気が進行していることが少なくありません。しかし、子宮頸がん検診を受けることで、異形成といわれる、がんになる前の正常でない細胞の段階を発見することは可能です。欧米では80%以上の女性が受診する一方で、日本では40%程度に止まっています。特に20歳代前半の女性の受診率は14%ほどで、極めて低い状況です。



この時点での早期発見が大切!